

《平成28年度 都市計画部 組織目標の達成状況》

◆目標管理者

部長	田邊 好彦
理事	六郷 昌記
理事	吉川 寛



平成28年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

1. 現状認識 (重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)	2. 重点目標	3. 目標達成のための取り組みと成果目標	4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組 【年度末実績】
<p>1</p> <p>・将来の人口減少を見据え、市街地の拡大を基調とした拡散型の開発整備から、中心市街地を中心とした集約型都市構造への転換や全国的に問題となっている空き家等に関する対応が求められています。 ・本市では、高い自家用車依存率を占めており、慢性的に交通渋滞が起こっています。特に両駅の駅前ロータリーにおける朝夕の混雑は悪化しており、その影響もあり、公共交通機関の維持・確保が厳しくなっています。</p>	<p>①</p> <p>公共交通等の充実など、日常生活に必要なサービスや行政サービスが住まいなどの身近に存在する「コンパクトシティ+ネットワークのまちづくり」の実現を目指します。また、中心市街地と郊外部がともにバランス良く発展するような、まちづくりを目指します。</p>	<p>①</p> <p>【取組】 公共交通網で結ばれたコンパクトな都市構造を目指し、より安心して暮らせる居住環境の確保や充実した都市機能の誘導を図るための立地適正化計画(案)を策定します。(事業費 6,783千円)</p> <p>【成果目標】 住まいと住生活に魅力があると感じる市民の割合 16.0% (平成27年度 15.1%)</p> <p>②</p> <p>【取組】 ・今後増える空き家等に対して、対策を講じる必要があることから、市内全域の実態調査を行い、その結果を踏まえ空き家対策計画を策定します。 ・空き家等の所有者と不動産を求めている人とのマッチングを行う空き家情報バンクの設置を行い、空き家等の利活用を進めます。(事業費19,852千円)</p> <p>【成果目標】 空き家等対策計画を策定します。</p> <p>③</p> <p>【取組】 市街化が顕著な南草津駅周辺地区にふさわしい土地利用を実現し、健全かつ計画的な市街地の形成と地域の発展を図るため、組合施行で実施される当該土地区画整理事業に対して支援を行います。(事業費 127,714千円)</p> <p>【成果目標】 住まいと住生活に魅力があると感じる市民の割合 16.0% (平成27年度 15.1%)</p> <p>④</p> <p>【取組】 ・地域公共交通網形成計画を策定します。(事業費 12,636千円) ・駅前ロータリーへの自動車等の進入規制や時間帯規制による周辺道路等への交通影響調査の実施およびロータリーの改良等、実施可能な施策の調査検討を行います。(事業費 12,950千円)</p> <p>【成果目標】 公共交通機関の便がよと感じる市民の割合 42.0% (平成27年度 41.1%)</p>	<p>①</p> <p>【取組実績】 平成29年度の公表に向けて立地適正化計画(案)の策定に取り組みました。 ・居住誘導区域、都市機能誘導区域の検討 ・誘導施設の検討 ・公共交通軸の検討 等</p> <p>【成果目標実績】 住まいと住生活に魅力があると感じる市民の割合 16.4% (平成27年度 15.1%)</p> <p>②</p> <p>【取組実績】 ・市内全域における空家等実態調査を実施するとともに、空家等の所有者等に対してアンケート調査を行い、これらの結果を踏まえて草津市空き家等対策計画を策定しました。 ・草津市空き家情報バンクを設置しました。</p> <p>【成果目標実績】 草津市空き家等対策計画を策定しました。</p> <p>③</p> <p>【取組実績】 仮換地指定に向け、事業計画の変更手続きを進められるとともに、補助対象事業である埋蔵文化財調査に取り組みました。</p> <p>【成果目標実績】 住まいと住生活に魅力があると感じる市民の割合 16.4% (平成27年度 15.1%)</p> <p>④</p> <p>【取組実績】 ・地域公共交通網形成計画の策定に係る基礎調査を実施しました。(地域および公共交通の現状把握、上位・関連計画の整理、市民アンケート調査によるニーズの把握、地域公共交通の課題整理等) ・JR両駅周辺における駅利用者アンケート調査や交通実態調査の実施、また関係機関との調整等を行いながら、駅周辺の改善対策案の検討を行いました。</p> <p>【成果目標実績】 公共交通機関の便がよと感じる市民の割合 44.7% (平成27年度 41.1%)</p>

1. 現状認識
(重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)

・中心市街地の衰退が都市機能の低下を招き、市全体が疲弊することが懸念されています。
2. 空き店舗が増加するなど、賑わいや交流の場としての中心市街地の魅力・活力が低下しています。

2. 重点目標

② 市街地の整備改善、都市福祉施設の整備、まちなか居住の推進、商業の活性化、公共交通の利便増進の視点で総合的に取り組むなど、景観に配慮した賑わいのある、歩いて暮らせる魅力ある都市づくりを進めていきます。

3. 目標達成のための取り組みと成果目標

【取組】
○中心市街地の賑わい創出事業
草津駅東口緑化広場niwa+(ニワタス)の整備効果をさらにまちなかへ広げるため、草津川跡地テナントミックス事業や魅力店舗の誘致など、回遊性の高い中心市街地を目指します。
(事業費)
草津川跡地テナントミックス事業費補助金 46,666千円
魅力店舗誘致事業費補助金 4,000千円
草津駅前イルミネーション事業費補助金 2,000千円
○草津まちづくり株式会社等への支援
多様なまちづくり関係者による中心市街地の活性化を促進します。
(事業費)
草津まちづくり株式会社への運営支援補助金 16,491千円
草津市中心市街地活性化協議会への負担金 1,000千円
○北中西・栄町地区市街地再開発事業
(事業費)
組合への地盤調査、土地整備業務、補償業務補助金 1,165,598千円
【成果目標】
まちなかに魅力があると感じる市民の割合 30.0% (平成27年度 27.2%)

4. 課題解決に向けた平成28年度の具体的な取組
【年度末実績】

重

【取組実績】
○中心市街地の賑わい創出事業
・中心市街地活性化基本計画の核事業に位置付けられている草津川跡地テナントミックス事業により、魅力的な3店舗が集積した商業エリアである「クサツコヨリバ」の整備を進め、4月20日にグランドオープンします。
・中心市街地エリア内の空き家・空き店舗を活用し、新たな店舗を出店される方に対して補助を行う魅力店舗誘致事業につきましては新たに1件分の魅力的な店舗を誘致しました。
また、草津駅周辺の商業施設が中心となって草津駅の東西を光で結ぶ「みんなdeつなご 草津まちイルミ」では、イルミのバージョンアップや京都橋大学生との連携など、新しい事業を実施するとともに官民が連携した取組により賑わいを創出しました。
⑤ ○草津まちづくり株式会社への支援
・草津まちづくり株式会社については、早期の経営安定化を目的として市から運営支援に関する補助を行いました。
・中心市街地活性化協議会については、草津まちづくり株式会社が事務局を担い、多様なまちづくり関係者と連携をし、イルミネーション事業の実施やまちなか情報誌の発行などにより、中心市街地の活性化を促進するソフト事業の取り組みを行いました。
○北中西・栄町地区市街地再開発事業
平成29年3月21日に権利変換計画が認可されました。また、解体工事着工に向け、地元調整等、事業を推進されました。
【成果目標実績】
まちなかに魅力があると感じる市民の割合
平成28年度 30.4% (平成27年度 27.2%)

3. まちなかの貴重な都市空間である草津川跡地の有効活用が求められています。

③ 優先整備区間である区間2および区間5について、平成29年春の供用開始に向けて、植栽、建築工事等を進めていくとともに、供用開始後の維持管理体制を整える。

【取組】
草津川跡地の区間2と区間5を整備します。
(事業費)
工事費 委託費等 2,346,697千円
(うち平成27年度予算明許繰越 2,172,308千円)
【成果目標】
整備進捗率 40% (平成27年度 22%)
(※整備進捗率=整備面積/全体面積×100)

重

【取組実績】
優先整備区間である区間2および区間5の整備工事を完了し、新たに草津川跡地公園(区間2)および草津川跡地公園(区間5)として、平成29年4月1日から都市公園の供用を開始します。
【成果目標実績】
平成28年度 整備進捗率 40% (平成27年度 22%)